

平成30年度の公文書及び個人情報開示状況をお知らせします

総務課 内線213・389

◆公文書公開実施状況

実施機関	全部開示	部分開示	不開示	合計
総務部	19	4	0	23
健康福祉部	6	1	0	7
産業建設部	2	1	0	3
教育委員会	0	0	0	0
合計	27	6	0	33

◆個人情報開示請求状況

実施機関	全部開示	部分開示	不開示	合計
健康福祉部	8	0	0	8
合計	8	0	0	8

※全部開示：請求のあった公文書のすべてを開示すること。
 ※部分開示：請求のあった公文書のうち、個人情報など開示することができない部分を除き、開示すること。
 ※不開示：請求のあった公文書を開示しないこと。
 ※表中の数値については、開示請求に係る数値ではなく、決定通知に係る数値を表記してあります。

認知症地域支援推進員のコラム

「認知症になっても、住み慣れた地域で暮らしたい」

認知症は特別な人に起こる特別な出来事ではなく、歳をとれば誰にでも起こりうる、身近な病気です。厚生労働省が発表した推計によると、2025年には認知症患者数が、65歳以上の高齢者の約5人に1人になると見込まれています。

また、認知症は高齢者だけの問題ではなく、65歳未満で発症する場合もあり、若年性認知症と呼ばれています。認知症になったらどうしようという不安は誰もが抱えていると思いますが、認知症になっても、何もできなくなるわけではありませんし、周囲の人々の理解と気遣いがあれば、穏やかに暮らしていくことは可能です。

地域包括支援センターでは、認知症地域支援推進員が中心となり、認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けられることを目指し、住民の方に認知症について正しく理解していただいたり、医療機関や介護サービス事業所等が連携しやすくなるよう支援したりしています。

▼問い合わせ 扶桑町地域包括支援センター（扶桑町総合福祉センター1F） ☎（91）1171
 月～金曜日（祝日を除く）午前8時30分～午後5時15分

ご寄附
 ありがとう
 ございました

ふるさと寄附金について

政策調整課 内線314

平成30年度に扶桑町へ寄せられたふるさと寄附金は299件12,374,622円でした。

寄附金は目的に応じた基金へ積み立て、令和元年度以降の事業に活用します。

1. 子どもの教育に関する事業（ふるさと寄附金基金へ積み立て）
 ▼寄附額 3,722,000円 … 小中学校の備品購入費及び工事費に充当します。
2. 子育て支援に関する事業（ふるさと寄附金基金へ積み立て）
 ▼寄附額 1,805,000円 … 令和2年度の事業へ充当し、児童館の整備に活用します。
3. 高齢者・障害者に関する事業（ふるさと寄附金基金へ積み立て）
 ▼寄附額 1,665,000円 … 特定相談支援事業委託料※に充当します。
 ※障害者等からの専門的な相談に対応するため、相談支援、指導及び助言を拡充するための相談支援事業
4. 健康増進に関する事業（ふるさと寄附金基金へ積み立て）
 ▼寄附額 630,000円 … バウンドテニスセット（総合体育館）を購入します。
5. 文化・スポーツに関する事業（ふるさと寄附金基金へ積み立て）
 ▼寄附額 481,000円 … 舞台幕取替工事費（文化会館）に充当します。
6. 住民活動支援、コミュニティ支援に関する事業（ふるさと寄附金基金へ積み立て）
 ▼寄附額 60,000円 … 住民活動支援センター委託料に充当します。
7. その他扶桑町の発展のために町長が必要と認める事業（公共施設建設基金・ふるさと寄附金基金へ積み立て）
 ▼寄附額 4,011,622円 … 令和2年度の事業へ充当し、児童館の整備に活用します。